

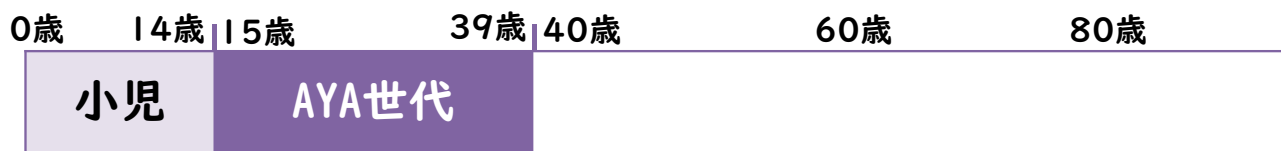
小児・AYA世代の 若年がん患者をサポートします

健康福祉部 健康増進課 がん撲滅特別対策室

令和2年5月

小児・AYA世代がん患者は様々な悩みや不安を抱えています

AYA世代 (A**dolescent** and Y**oung** A**adult**) : 15~30代までの思春期、若年成人



AYA世代発症のがんサバイバーの悩み (トップ3)	治療中のAYA世代がん患者の悩み (トップ3)
①今後の自分の将来のこと (57.6%)	①今後の自分の将来のこと (60.9%)
②不妊治療や生殖機能に関する問題 (45.5%)	②仕事のこと (44.0%)
③仕事のこと (40.9%)	③経済的なこと (41.5%)

25~29歳では第1位 (54.2%)

【出典】AYA世代がん医療に関する包括的実態調査 (国立がん研究センター中央病院実施)

こうした悩みや不安をやわらげるような取組を開始します

将来的に子どもを産み育てることができるとい希望を持って治療できるように

不妊治療や生殖機能に関する問題

妊よう性温存治療

がん治療により失われる可能性のある
妊娠するための力を事前に温存する治療

【治療内容】

精子、卵子等の採取、凍結保存

保険適用外のため高額となることもあり、
経済的に大きな負担



これに対応するために

若年がん患者を対象に 妊よう性温存治療費の一部を助成

対象となる方

- 県内在住の40歳未満のがん患者
- がん治療により妊よう性が低下する又は失う恐れがあると医師に診断された方 など

助成上限額

精子の採取・凍結保存	3万円
卵子等の採取・凍結保存※	25万円

※卵子の採取及び胚（受精卵）の凍結、卵巣組織及び手術を伴う精子の採取・凍結を含む



住み慣れた自宅で安心して療養生活を送ることができるように

経済的な課題

末期がん患者の在宅療養

40歳未満の末期がん患者は**既存制度の対象とならず、在宅ケア費用が自己負担**

【在宅ケアに係る公的制度】

	~19歳	20歳	39歳	40歳~
訪問介護	支援制度なし			介護保険
日常生活用具	小児慢性特定疾病	制度の狭間		

患者・家族にとって**経済的に大きな負担**（身体的にも大きな負担）



これに対応するために

若年末期がん患者を対象に在宅ケア費用の9割を助成

対象となる方

- 県内在住の40歳未満の末期がん患者
- 居宅介護等の支援が必要な方 など

対象となるサービス

- 訪問介護（身体介護、生活援助など）
- 訪問入浴介護
- 福祉用具の貸与・購入（車いす、介護ベッドなど）



助成上限額

最大で月**5万4千円**を助成
※ サービス利用上限額（月額6万円）の**9割**

そして、将来のこと、仕事のことなどお悩みがあれば何でもご相談ください

仕事を辞めずに
済むような
就労支援は？

気持ちが落ち込んで
つらい。自分の思い
を聞いて欲しい

活用できる助成・
支援制度を知りたい

医療者に自分の
希望をうまく
伝えられない

などなど

さん愛プラザ (佐賀県がん総合支援センター)

佐賀市水ヶ江一丁目12-10
メディカルセンタービル1F

	電話番号等	相談できる日時
電話での相談	0120-246-388	月～金曜日（祝日・盆・年末年始除） 9時30分～13時00分、14時00分～16時30分
窓口での相談	（予約不要）	9時30分～16時30分

がん相談支援センター

医療機関名	電話番号	相談できる日時
佐賀大学医学部附属病院	0952-34-3113	月～金曜日（祝日除）9時～16時
佐賀県医療センター好生館	0952-28-1210	月～金曜日（祝日除）8時30分～17時15分
唐津赤十字病院	0955-74-9135	月～金曜日（祝日除）9時～17時
嬉野医療センター	0954-43-1120	月～金曜日（祝日除）9時～16時



がんになっても安心して 暮らせる佐賀づくり を進めていきます

お問い合わせ先

佐賀県 健康福祉部 健康増進課 がん撲滅特別対策室
TEL : 0952-25-7491 FAX : 0952-25-7268
MAIL : kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

助成事業の詳細は、がんポータルさがをご確認ください ←

<https://www.ganportal-saga.jp/josei/aya>

